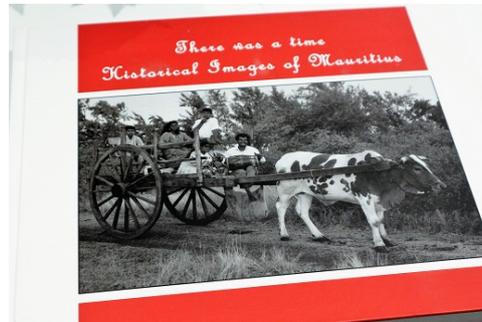


モーリシャス豆知識・小話 第6号

2017年10月

(1) モーリシャス今昔



ここに「There was a time Historical Images of Mauritius」という1冊の写真集があります。先日、加藤大使がある大臣を表敬した際に、これでモーリシャスを更に良く知ってくださいとおみやげにもらったものです。モーリシャスの町並みや人々の表情、各地域の建物や自然といったごくありふれた風景が白黒の写真230ページ超に収められています。

藁葺の屋根の素朴な家、朽ち果てた小舟で遊ぶ無邪気な子どもたち、農夫が牛車で、女性が頭に乘せて運ぶ穀物や水、自転車に積んだ飲料水らしきものを道端で売る男、どこか懐かしいというか牧歌的というか、貧しくインフラも十分には整っていないのが写真の端々に見て取れます。ポートルイス市内でさえ、どこか雑多で田舎の小売店が軒を連ねる感じ、白黒で撮っているからとはいえ、まだ貧しい頃だなとの印象です。

これは植民地時代いつ頃のモーリシャスだろう。そう思いながらふとキャプションを見て驚きました。ほとんどが1970～80年台、中には90年台も混じっています。さほど昔でもありませんが、現在のモーリシャスと大違いです。モーリシャスは90年台に入ってそれまでのサトウキビ、繊維産業といった伝統的産業から脱皮するため産業構造の転換を図り2000年代にそれに成功した、よく言われるフレーズですが、まさにそれをビジュアルで確かめられた感じでした。

実際、一人当たりのGDPの推移を見ると1980年初頭に9,000ルピーだったのが1990年には37,251ルピー、2000年に10万ルピーを越え、2010年には約25万ルピーと急激に増加して行っているのがわかります。そして今年は35万ルピーを超えるようです。高速道路（フェニックス～ポートルイス間）は既に1960年代に建設され始め経済成長の萌芽はあったようですが、その後加速度的に延びていきました。コーダン・ウォーターフロントができたのは1996年とのこと。つまりこの写真が物語っているとおり、社

会資本整備が本格的に進んだのは90年代からということでしょう。

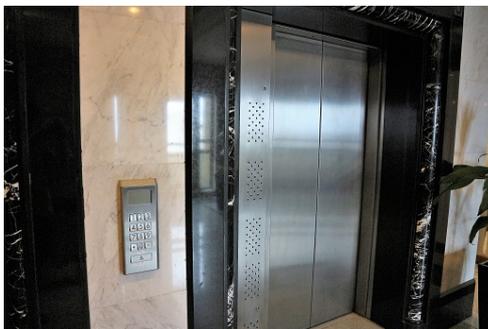


ヨーダン・ウォーターフロント

資源のない小さな島国、この危機意識が政治家をしていかに政治の安定を図り経済を成長軌道に乗せるかという舵をとらせ、人々もそれに応えて改革を推し進めた結果なのでしょう。なまじ石油が出たり、鉱物資源が豊富にあるという状況になかったことも幸いしたかもしれません。たかるべき富もなく、頼りは人材しかない国では、アフリカの資源豊富な国でよく聞くガバナンスの低さ、汚職の深刻さも回避できたということかもしれません。そうした厳しい危機意識がこれだけの国を作り上げたのかもしれませんが。

今のモーリシャスを再び白黒の写真で切り取って行くとき、20年後、30年後にその写真集を見た人々はどんな感想を洩らすのでしょうかね。

(2) 効率の良い(?) エレベーター



私がモーリシャスに来て未だ慣れないのがエレベーター。ここではまず乗る前に行き先階を押すタイプが多いです。他の国にもあるのですが、私はこの方式はここに来て初めて知りました。なんで? どうして最初に行き先を押すの? 戸惑う私に周りのモーリシャス人は笑ってボタンを押しながら、「こうやって先に押せば他のエレベーターとともに最適な効率で稼働するのさ」と言います。

ふーん、そうなんや。思わず感心した私でしたが、最近なんだか疑わしくなってきたぞ。うちの事務所のエレベーターもモーリシャス外務省のエレベーターも複数基ありますが、誰が何階を押してもAのエレベーターしか表示されな

いときがあります。B や C はどうした？たとえ B や C が先に来て開いてもガラガラ、A の前の長蛇の列を尻目に、カラのまままた上がっていくではありませんか。またある日は逆に B ばかりが表示されたりして。そもそも、何事も決して効率が良いとは言えないこの国で、ひとりエレベーターだけがそんな効率よく動くなんてことがあるのでしょうか？さすがに怪しさが募っています。

それにアポ先の階がわからない外部の人にとってはこの上ない不便。押しボタンの横にでも案内板あれば良いけど、そんな親切さはないようです。取り合えず飛び乗って、中で表示を見ながらボタンを押すなんてこともできません。たまに、慣れた人でも階を押し間違える人がいますが、そうするとせっかく乗ったのに最寄りの階でいったん降りて、そこでまたひたすら別のエレベーターのお迎えを待たなければなりません。私なぞ、これは却って不便と思うのですが、なぜこんな方式のエレベーターがこの国で普及しているのでしょうか？誰か教えて！

ちなみに我が日本の外務省のエレベーターは、中に乗って行き先階を押し間違えても、ダブルクリックよろしくそこを2回早押しすると取り消しができるというなんとも有り難い機能がついています。それだけ慌てて乗り込んで押し間違える人が多いということかも。……何かせわしい日本人。。それと比較するとやっぱり、乗る前に自分の行き先を確かめ、乗ってからは泰然自若として目的階で扉が開くのを待つ、そんなモーリシャス人が急に余裕のある大人に見えてきました。